

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	広域交通の確保事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	01040113				
担当部署	企画総務部	企画戦略課	政策企画係	作成担当者名	大 蔵 健 司			連絡先	153				
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり							
			施策	06	第6節 公共交通の確保								
			細施策	01	広域交通の確保								
			事務事業	02	中央自動車道の利用促進事業								
	予算事業名			会計コード	001	款	02	項	01	目	06	事業	06
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	他地域の交流を進めるための交通手段の確保をする。高速道路では、高速バス利用者が無料で利用できる駐車場を設置・管理し、中央自動車道の促進を図る。また、鉄道の利便性を向上させるため、中央東線高速化促進広域期成同盟会へ参加し、JR東日本や関係機関等に要望を行うことができるよう、活動経費を負担する。											
	現状と背景 （どうして）	市民や観光客等が利用する、広域交通の利便性の向上を図る。											
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	市民、観光客										
		対象 （直接働きかける）	駐車場用地所有者（利用できる状態を確保する）、駐車場（清掃等により利用環境を確保する）、JR東日本、関係機関等										
		意図	高速バスや鉄道利用者の利便性の向上を図ることにより地域の発展を目指す。										
	手段・方法 （どうやって）	高速バス利用者が無料で利用できるようにし、清掃等により利用環境を整える。また、鉄道の利便性の向上に資するため沿線自治体で構成する協議会に参加し、JR東日本や関係機関等へ要望等活動などに協力する。											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		駐車場用地を確保する。	駐車場用地確保	件	駐車場用地所有者との土地の賃貸借関係を継続する。				3				
		駐車場内のゴミ清掃・草刈りをする。	利用環境整備	回/年	場内のゴミを清掃する。				3				
	成果指標	中央東線高速促進広域期成同盟会への参加・協力	会議参加回数	回					2				
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		駐車場に関する苦情等がなく、利用者の利便性を確保する。	苦情対応件数	件	苦情等がない状況を確保するようするが、最終目標値を「0」に設定できないため、成果指				※				
	中央東線利用客の増	JR茅野駅乗降者数	人/日					3,800					

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円		1,399,154	1,386,900	1,350,864	1,360,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円		1,399,154	1,386,900	1,350,864	1,360,000	
職員数	人						
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人						
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	—	25.00	25.00	24.00	25.00	
D （ ）	活動指標	駐車場用地確保	目標	件	3	3	3
			実績	件	3	3	3
		達成率	%	—	100.00	100.00	100.00
	利用環境整備	目標	回/年	3	3	3	
		実績	回/年	3	3	3	
	達成率	%	—	100.00	100.00	100.00	—
会議参加回数	目標	回	2	2	2		
	実績	回	2	1	2		
達成率	%	—	100.00	50.00	100.00	—	
O （ ）	成果指標	苦情対応件数	目標	件	0	0	0
			実績	件	0	0	0
	達成率	%	—	—	—	—	
	JR茅野駅乗降者数	目標	人/日	3,800	3,800	3,800	3,800
実績		人/日	3,604	3,558	3,715	3,750	
達成率	%	—	94.84	93.63	97.76	98.68	
備考	JR茅野駅乗降者数は、JR東日本長野支社企画室への聞き取りによる。						

事務事業名	広域交通の確保事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	01040113
担当部署	企画総務部	企画戦略課	政策企画係	作成担当者名	大 蔵 健 司	連絡先	153

期	目 標	実 績	課 題
第1期	高速バス利用のための駐車場をいつでも快適に利用できるようにする。 中央東線高速化促進ための取組への協力、参加	月に3回利用状況の把握、ごみ清掃を実施	中央東線高速化につながる情報等の収集を行う 今後も定期的に駐車場の状況を確認する。
第2期	高速バス利用のための駐車場をいつでも快適に利用できるようにする。 中央東線高速化促進ための取組への協力、参加	中央東線高速化促進のための同盟会総会へ出席 月に3回利用状況の把握、ごみ清掃を実施 高速バス利用者駐車場の草刈実施	中央東線高速化につながる情報等の収集を行う 今後も定期的に駐車場の状況を確認する。
第3期	高速バス利用のための駐車場をいつでも快適に利用できるようにする。 中央東線高速化促進ための取組への協力、参加	月に3回利用状況の把握、ごみ清掃を実施 高速バス利用者駐車場の草刈実施	中央東線高速化につながる情報等の収集を行う 今後も定期的に駐車場の状況を確認する。
第4期	高速バス利用のための駐車場をいつでも快適に利用できるようにする。 中央東線高速化促進ための取組への協力、参加	月に3回利用状況の把握、ごみ清掃を実施	中央東線高速化につながる情報等の収集を行う 今後も定期的に駐車場の状況を確認する。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 駐車場利用状況の確認を、月3回行っているが、毎回停まっていると思われる車があるので、ナンバーを控え確認を行う。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	違法駐車やゴミの投棄がたびたびあるので、定期的な確認が必要である。 駐車場は利用率が高くなっているので、草刈りをする際に車に傷をつける心配がある箇所は除草剤の散布により対応する。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	01040134															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	市が駐車場を設置・維持することは、中央自動車道の利用促進を図るとともに、周辺の交通環境整備のために必要である。	市が駐車場を設置・維持することは、中央自動車道の利用促進を図るとともに、周辺の交通環境整備のために必要である。					市が駐車場を設置・維持することは、中央自動車道の利用促進を図るとともに、周辺の交通環境整備のために必要である。			
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
方向性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
方向性	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	平成27年度は、計画どおり現場に向向き、利用環境整備を行った。平成28年度も同様に取り組み、利用環境整備に努めたい。					駐車場の賃借料については、土地の評価価格に基づき、定期的に見直す必要がある。				

最終評価年月日	平成28年4月20日	最終評価責任者	企画戦略課長	小平 雅 文
---------	------------	---------	--------	--------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	公共交通手段の確保事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	01040111
担当部署	企画総務部	企画戦略課	政策企画係	作成担当者名	大 蔵 健 司
				連絡先	153

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 05 第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり		
			施策 06 第6節 公共交通の確保			
			細施策 02 地域内交通の確保			
			事務事業 01 生活路線バスの再構築事業			
	予算事業名			会計コード 001 款 02 項 01 目 06 事業 06		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	生活路線バスの利用者が減少し、バス事業者から「不採算バス路線の見直し協議の申入れ」がなされ、「茅野市公共交通あり方検討会議」や「茅野市・原村地域公共交通活性化協議会」等の議論を経て策定した「地域公共交通総合連携計画」に基づく実証運行地域にふさわしい公共交通のあり方を検討している。また、観光路線である夢科ラウンドバス及びメルヘン街道バスの運行経費の一部を補助している。				
	現状と背景 （どうして）	マイカーの普及やライフスタイルの変化の中で、公共交通の利用者は減少し続け、営利事業として成り立っていきことが困難になっている。その中で、障害のある人や高齢者等の交通弱者だけでなく、すべての市民や観光客が利用しやすい交通手段の確保が課題である。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	日常生活をおくる上で公共交通が欠かせない市民及び観光客			
		対象 （直接働きかける）	茅野市公共交通あり方検討会議、茅野市・原村地域公共交通活性化協議会、バス事業者			
		意図 （どんな状態にしたいか）	障害のある人や高齢者等の交通弱者だけでなく、すべての市民が利用しやすい交通手段のあり方を検討し、構築する。また、観光客の移動手段を確保することにより、観光振興にもつなげていきたい。			
	手段・方法 （どうやって）	茅野市公共交通あり方検討会議、茅野市・原村地域公共交通活性化協議会を通じ、バス事業者・タクシー事業者などの交通事業者の連携や、市・市民・公共交通利用者・商業観光等の事業者などの連携により、地域にふさわしい公共交通のあり方を、負担のあり方も含めて検討し、構築する。あわせて、観光路線バスの運行維持のため運行経費の一部を補助する。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		実証運行バスの利用者数を把握する	実証運行バス利用者数 (1日当たり)	人	利用者が増えることが、地域にふさわしい公共交通のあり方につながる	684
		実証運行バス車内にアンケートと回収箱を設置する等し、利用者の意見を聴取する	利用者意見の聴取	件	利用者の満足度を向上させることが、地域にふさわしい公共交通のあり方につながる	※1
		バス事業者への補助金交付	補助金交付額	円	バスの運行上生ずる欠損額の一部	※2
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		地域にふさわしい公共交通のあり方を見出す	利用者満足度の向上	%	実証運行バス満足利用者数÷意見聴取利用者数	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	34,147,058	47,839,000	48,151,384	48,380,498	57,375,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円	34,147,058	47,839,000	48,151,384	48,380,498	57,375,000		
職員数	人							
正規職員	人	0.75	0.80	0.80	0.80			
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.75	0.80	0.80	0.80	0.80		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	608.00	855.00	860.00	864.00	1,025.00		
D O （ ）	活動指標	実証運行バス利用者数 (1日当たり)	目標	人	442	684	684	684
			実績	人	353	549	532	
		利用者意見の聴取	目標	件				
			実績	件	241	311	299	301
		補助金交付額	目標	円				
			実績	円	4,005,058	4,144,000	3,780,000	5,238,000
	成果指標	利用者満足度の向上	目標	%	100	100	100	100
			実績	%	82	82	83	79
		—	目標	%				
			実績	%	81.70	82.10	82.90	79.30
		—	目標	%				
			実績	%				

※計画（PLAN）及び実施状況（DO）の活動指標及び成果指標は、平成21年度に連携計画を策定したことから、平成22年度から変更する。
 ※平成26年度から対象路線に白樺湖線、北八ヶ岳ロープウェイ線が加わり日利用者数の目標値を変更する。
 ※なお、利用者意見聴取の目標値（※1）及び補助金交付額（※2）は設定は難しいため記入してない。

事務事業名	公共交通手段の確保事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	01040111
担当部署	企画総務部	企画戦略課	政策企画係	作成担当者名	大 蔵 健 司	連絡先
						153

期	目 標	実 績	課 題
第1期	通学通勤、生活、観光の3分野における持続可能な市内バスの交通体系(素案)を茅野市公共交通検討会議に提示	6月に公共交通検討会議を開催し、委員から総合的な意見を聴取	素案の実現に向けた具体的な検討が必要
第2期	素案を基に、交通事業者等との打ち合わせを実施 打ち合わせ後の案を公共交通検討会議に提示 議会全員協議会に案を説明	6月の検討会議後に交通事業者との打ち合わせを行い、再編素案の見直しを実施。見直し後の再編案を検討会議で確認いただき、議会全員協議会において方向性、再編案について説明を実施	8月の検討会議において指摘された事項についてさらに検討を加え、交通事業者との協議を行う必要がある。
第3期	再編案の細部の詰めを行い、運行計画案を決定するとともに、関係団体等への説明を実施	交通事業者との運行経路、ダイヤ、収支予測について、協議を実施	事業者との協議の中で調整がつかない事項があり、地区等関係団体に対して説明が実施できなかった。
第4期	事業者との協議を整え、関係団体等への説明を丁寧に行い再編実施を進める。	検討会議において、最終的な再編案の承認をいただき、各地区区長会、民生児童委員役員会・総会、金沢地区の買い物弱者対応検討会役員に再編案の説明を実施	再編案関係団体の説明を進めるとともに、再編案を再編計画とするための作業を進める。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 検討すべき事項が多岐にわたること、交通事業者との協議も時間を要し、再編案の決定が遅れている。平成28年4月からの再編をめざし事業を進めていく。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
チェック					4					レ	3					4	B
課題	市内バス運行の体系を見直し、再編案としてもめることができたが、この案に対するご意見をいただきながら再編計画とし、準備を進めていく。そのためには、バス利用者や関係団体への説明を早急に進めるとともに、バス運行事業者に対して、新たな路線に係る申請手続き等を進めていく必要がある。																
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要																
前年度総合評価判定	B																
前年度評価シート整理番号	01040132																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	市内バス運行の体系の再編の方向が定まった。この再編案を再編計画として、再編を実施することにより今までよりも効率的な運行ができることとなるため、この事業を推進することは妥当である。	通勤・通学、買い物、通院、観光客のための利用者実態を踏まえた、利用しやすいバス運行が必要になっている。28年10月からのバス再編により利用者の促進を図る。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	28年10月からのバス再編を実施するために必要な準備を進めていく。(関係団体への説明、バス事業者への事務手続きの依頼、実施に係る準備等)	28年10月からのバス再編に向け、バス内に新たなルートや時刻表を掲示するなど、利用者への周知を徹底していきたい。								
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性									
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成28年4月20日	最終評価責任者	企画戦略課	小平 雅 文
---------	------------	---------	-------	--------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	福祉バス運行事務事業	事業期間	平成 11 ~ 年度	整理番号	03010214
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	久保山 貴博
				連絡先	303

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	06	第6節 公共交通の確保
				細施策	02	地域内交通の確保
				事務事業	02	福祉バスの運行事業
	予算事業名			会計コード	001	款 03 項 01 目 01 事業 12
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市内在住の65歳以上の方や障害のある方への利用者証発行、福祉バス「ピーナちゃん」運行事業を実施しているアルピコ交通株式会社への補助金交付。				
	現状と背景 （どうして）	平成11年8月31日より市内4路線で運行を実施し、平成14年4月8日より専用バス3台で市内全域12路線に拡大、平成15年11月1日からダイヤ改正し、13路線となり、平成22年から平成23年の公共交通全体の見直しの中で現在11路線で運行している。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	65歳以上の高齢者、障害者。		
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	対象者に福祉バス利用者証を発行し、週一回のお出かけバスとして、既存の生活路線バスが運行されていない地域や運行が少ない地域を中心に、市営温泉施設・病院・市役所などを経由し、既存路線バスとの共存共栄を図りながら運行することにより移動手段を確保する。			
	手段・方法 （どうやって）	年度内に65歳以上になる方へ利用者証を郵送で発行する。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		利用者証	発行枚数	枚	1年間の発行枚数	900
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	高齢者・障害者等のお出かけの回数を増やす	1便当たりの乗車人数	人	乗車人数/便数	5	
	高齢者・障害者等のお出かけの回数を増やす	1日当たりの乗車人数	人	乗車人数/日数	70	

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ ）	事業費等 (a)	円	8,425,869	9,255,000	9,169,368	9,217,126	229,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	8,425,869	9,255,000	9,169,368	9,217,126	229,000
	職員数						
	正規職員	人	0.28	0.38	0.38	0.38	
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人	0.28	0.38	0.38	0.38		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)	人						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	150.00	165.00	164.00	166.00	4.00	
O （ ）	活動指標	発行枚数	目標	900	900	900	900
		実績	968	958	919	980	
	達成率	%	107.56	106.44	102.11	108.89	
	成果指標	1便当たりの乗車人数	目標	5	5	5	5
		実績	4	4	4	3	
	達成率	%	80.00	76.00	72.00	68.80	
1日当たりの乗車人数	目標	70	70	70	70		
	実績	59	62	59	56		
達成率	%	84.29	88.00	84.43	79.86		

備考 市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号は05060302、01030404、05060304
平成22年度は見直しのための調査に臨時職員を雇った。茅野市原村公共交通活性化協議会、茅野市公共交通検討会議において福祉バスを含めた、公共交通のあり方を見直しています。

事務事業名	福祉バス運行事務事業	事業期間	平成 11 ~	年度	整理番号	03010214	
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	久保山 貴博	連絡先	303

期	目 標	実 績	課 題
第1期	茅野市公共交通検討会議で福祉バスを含めた市内の公共交通の見直しの推進 福祉バス利用者証の配布方法の見直し	今年度から、毎月実施している65歳到達者介護保険制度説明会における利用者証の配布の実施。 4月～6月の出席者:66人(対象者の約32%)	公共交通の見直し検討による福祉バスの運行形態の見直し。 介護保険制度説明会での配布の継続。
第2期	公共交通の見直しに係る福祉バスの見直しの検討	第7回茅野市公共交通検討会議の実施 これまでの協議の方向性の整理、および(路線バスおよび福祉バスを整理した)修正案の提示	修正案の課題の整理、交通事業者との協議による課題の抽出
第3期	公共交通の見直し案の策定	関連部署(企画課)等との協議、公共交通の見直し案の検討	公共交通の見直し案に対する交通弱者の意見の反映
第4期	公共交通の見直し案の策定	公共交通の見直し案の策定	市民、特に福祉バスの利用者への公共交通の見直しに関する周知

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 公共交通検討会議より、公共交通見直し案が提示された。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 公共交通見直し案に対し、利用者等の意見の反映を検討し、福祉バス利用者へ周知していく。	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	アルピコ交通株式会社の路線バス縮小の流れを受け、茅野市原村公共交通活性化協議会、茅野市公共交通検討会議であり方の検討を行っています。今後、検討結果等を踏まえ新たな公共交通網を構築していく必要があります。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	03010214															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	福祉バス「ピーナちゃん」は、平成11年から高齢者と障害者が「週1回のお出かけバス」として運行を始めた。高齢者と障害者の外出の利便性を図るため、また、交通手段の確保のために必要である。茅野市議公共交通検討会議等での見直しを進め、新たな公共交通網の構築を進めます。	福祉バス「ピーナちゃん」は、平成11年から高齢者と障害者が「週1回のお出かけバス」として運行を始めた。高齢者と障害者の外出の利便性を図るため、また、交通手段の確保のために必要である。茅野市議公共交通検討会議等での見直しを進め、新たな公共交通網の構築を進めます。								
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	茅野市公共交通検討会議で福祉バス「ピーナちゃん」を含めた公共交通のあり方の検討を進めています。利便性が高く効率のよい福祉バスを含めた公共交通網の構築を具体的に進めます。検討会議の分科会にてコンサルの提案を受けながら進めます。	茅野市公共交通検討会議で検討してきた福祉バス「ピーナちゃん」を含めた公共交通の再編案を平成28年10月から運行する。引き続き福祉バス利用者証の対象者へは同様の料金体系が維持されるため、利用者証の発行および利用に関する周知を実施します。								

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹 内 武
---------	------------	---------	----------	-------